

# 今日の観察ポイント

2021年5月9日

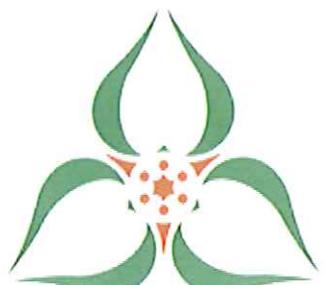
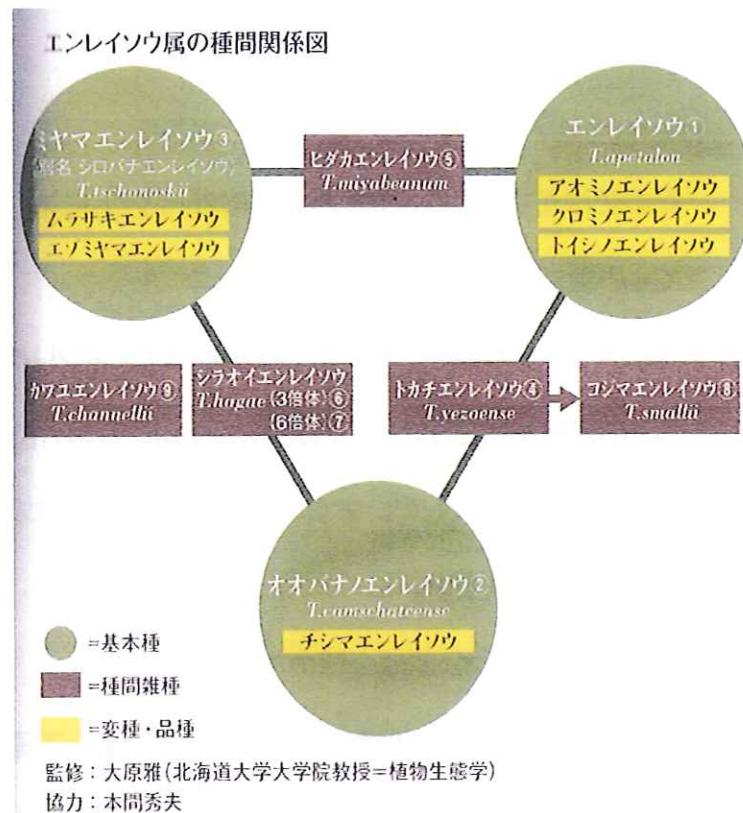
## エンレイソウの仲間たち

单子葉植物綱 ユリ目 ユリ科 エンレイソウ属

■ エンレイソウの仲間は北方系の植物で、現在、種間雑種も含めて9種確認されていますが、すべて北海道に分布します。いずれの種類も3枚の輪生する大きな葉に3枚の花びら、6本の雄しべ、雌しべは1本ですが先が3つにわれており、すべて3を基本にしたユリ植物です。細かい分類は厄介ですが、江部乙で普通にみられるのは2種で、花の色が白とあざき色ですからこの区別は容易です。雑誌(※)にエンレイソウ属の分類が解説されており、基本種としてオオバナノエンレイソウ、エンレイソウ、ミヤマエンレイソウの3種を考え、他をこの種間雑種と考える説がわかりやすいです。花の色、萼の有無のほか、花の大きさや咲く向き、雄しべの葯の長さ、雌しべの子房の色や形などで分類がされています。今日はルーペをもって、花の中のぞいてみましょう。

### ■ 閑話休題

北海道大学の校章はエンレイソウをモチーフにしています。デザインされていますが、花弁や雄蕊の数など結構、実物に忠実です。



## 【オオバナノエンレイソウ】

白くて、緑の萼よりおおきな花弁が特徴。群生し、明るい森のなかで非常に清楚で華やかです。

葉は3枚輪生で、先はハートの先のようにとがります。

◆ 花は上向きに咲く。花弁は6cmくらいと大きく萼より大きい。花弁の先端はとがらない。

◆ 雄しべの葯は長くて、全体の3/4をしめる。

◆ 雌しべの先端は3つに割れ、その下の子房の上部は紫褐色。下はクリーム色。



これらの図鑑に載っている特徴は本当でしょうか？ かなり変異の多い種なので、お宝や変わりものがみつかるかもしれませんよ。

## 【エンレイソウ】

花の色はあずき色で、オオバナノエンレイソウよりも小型でシックな印象です。

葉はやはり3枚輪生、葉の形ではオオバナノエンレイソウとの区別は難しいです。花びらにみえるのは萼片で本物の花弁は退化しています。この色で花弁が別にあれば、お宝発見です。

◆ 雄しべは6本、葯は全体の1/2程度。

◆ 雌しべの先が3つに割れるのは同じですが、子房の色は緑っぽいのや黒紫や赤っぽいのがあり、それぞれアオミノエンレイソウ、クロミノエンレイソウなどの変種とされています。今日見つかるのは何色でしょうか…。またすでに花びら(萼)が落ちて、子房が大きくなつて実になりつつあるのもみつかるかもしれません。



( 文章、写真:磯 )

2014年5月18日の観察会資料に加筆し、再掲